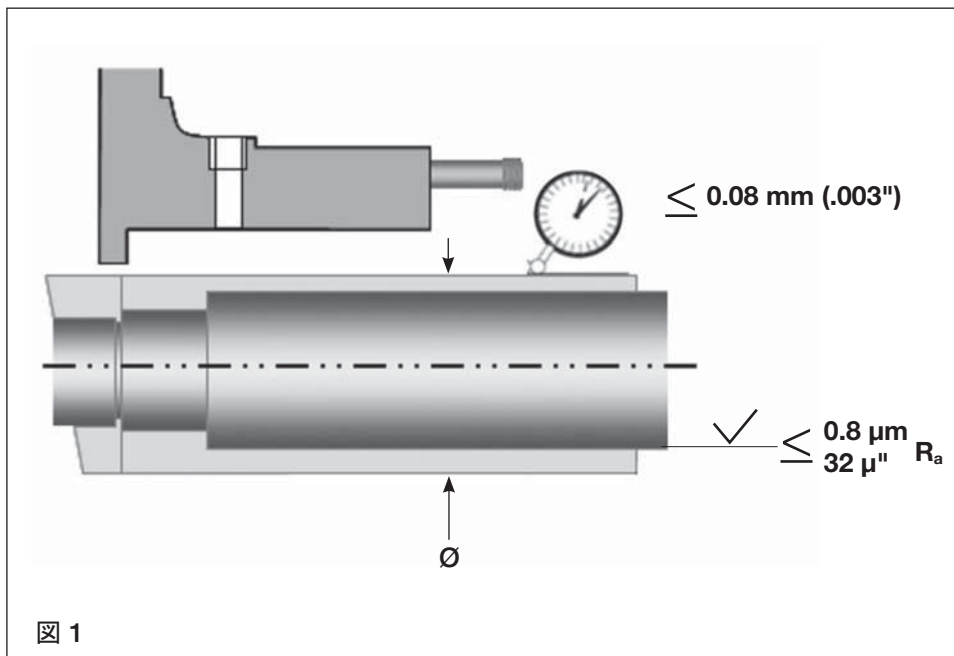


Chesterton® SuperSet™ SpiralTrac™ 使用 取扱説明書

機器の準備

1. 通常の方法でスタフリングボックスよりパッキンを取出します。スタフリングボックスをきれいにし、古いパッキン、固形物、腐食を完全に取り除いてください。
2. SuperSetを交換する場合または補修のために 機器を分解する場合は表1のSuperSetの取り外し方を参照して下さい。
3. ポンプスリーブを点検し、良好な状態にあることを確認します(図1)。スリーブの状態はポンプ内パッキンの寿命に直接影響を与えます。スリーブの交換が必要な場合は、OEMスリーブまたはその同等品と交換してください。
4. パッキングランドとグランドフォロワーをきれいにし、スタフリングボックス内にスムーズに入るようにしてください。
5. **フラッシング液排水口を塞ぎます。**フラッシング液の導入/排出パイプが使用されている場合は、**導入用のみを使用してください(図6参照)。**



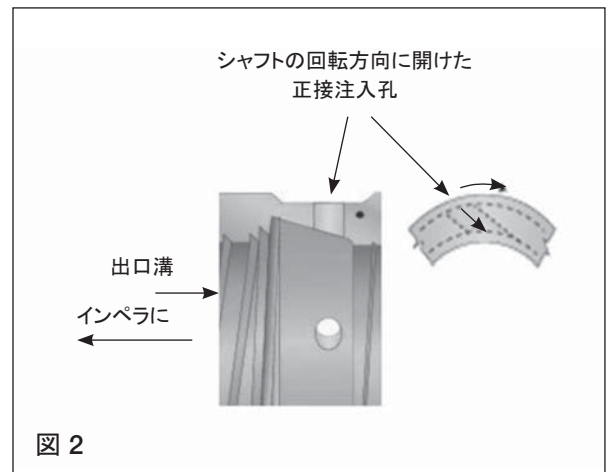
注意

取扱説明の内容は一般的なものです。メカニカル・パッキンに精通されている方、特にメカニカルパッキンの効率よい使用のためのプラント内条件に精通されている方を対象としています。疑問がある場合は、プラント内でパッキンに精通した方に問い合わせるか、パッキン担当者が立会いに現れるまで取付を延期してください。

順調な作動に必要な環境管理機器(加熱、冷却、フラッシング等)や安全装置なども必ず取付けてください。以上に関する決定はお客様が行います。特定の作動環境で本製品あるいは他のチェスタートン製製品を使用するかどうかは、お客様の責任において決定してください。

特定の装置構成と取付けの詳細は、3ページのSpiralTracの画像と表1を参照してください。

1. SpiralTrac™ P型 “S” タイプを二片に分割します。構成部品は位置合わせピンで各分割片に装填されます。STR製のSタイプは一分割一体型で、AタイプとBタイプは非分割一体型です。
2. SpiralTracには方向性があります。両吸込み型のポンプに使用する場合は、両端での回転方向が正しいことを確認してください（図2参照）。
3. 各SpiralTrac装置の外径に回転方向を示すステッカーが貼ってあります。機器のシャフト回転方向と合っていることを確認してください。取付け前に全てのステッカーとラベルをはがしてください。
4. SpiralTracがスムーズにスタッフィングボックス内に滑り込み、シャフトとSpiralTracの内径の間に十分な隙間があることを確認してください。SpiralTrac Pは外径上で隙間にぴったり収まるので、取付けにあたって過度な力は不要です。
5. 緑色のSpiralTrac情報タグに取付け日を記入し、将来参照できるよう装置に付着してください。



取付け

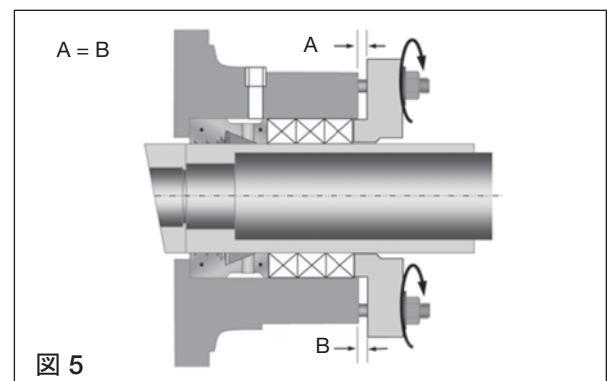
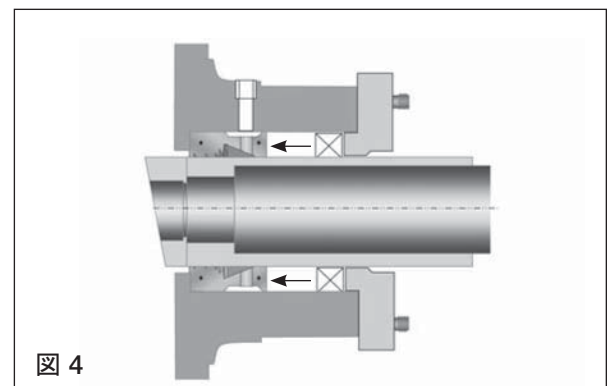
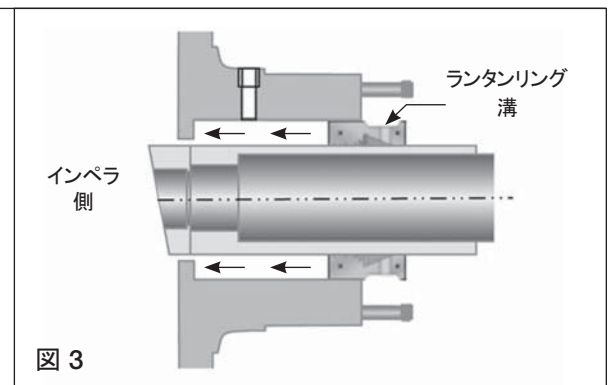
注意:

SuperSet補修キットを取り付ける場合は直接ステップ4へ。

1. SpiralTracを二片に分割します（表1参照）。
2. シャフトの周りで各片を組立てます（表1参照）。
3. SpiralTrac装置をスタッフィングボックスの底に届くまで均一に押し込みます（図3）。
4. 各パッキンリングをスタッフィングボックスに挿入し、パッキングランドを使用してボックス内で届くところまで押し込みます（図4）。チェスタートンのタンピングツールを使いリングをSpiralTrac装置に着座させます。90°の間隔で次のリング継手をずらしします。

本ステップ以降のパッキンタイプに特定な取付手順に関しては表IIを参照してください。

5. パッキングランド/フォロワーを取付け、グランド/フォロワーがスタッフィングボックス内に最低3 mm (1/8") 挿入されるまでグランドボルトをスパナで締めます（図5）。
6. グランドボルトを緩めグランドが自由に動くまでグランドを滑らせて戻します。
7. グランドノーズがスタッフィングボックス内のパッキンに接するまで、交互にグランドボルトを指で締め付けます。グランドとスタッフィングボックス面の間に均等な間隔があることを確認します（図5）。
8. シャフトとグランド外径の間に0.5 mm (0.020")の隙間ゲージを使用して、グランドがシャフトに接していないことを確認します（グランドがシャフトに接すると過熱し機器が損傷することがあります）。
9. 流量計(Chesterton® Flow Guardian™ S50を推奨)と逆止弁を適当なパイプに接続してフラッシング液を供給します（図6）。



機器の起動と操作

ポンプを起動する前に、グランドフォロワーが最低 3 mm (1/8") スタッフィングボックス内に挿入されていることを確認してください。

パッキンの馴染み運転:

馴染み運転の段階ではパッキンが発熱し、パッキングランドが熱くなることがあります。通常4時間以内にパッキンが「馴染み」、グランド温度が下がります。

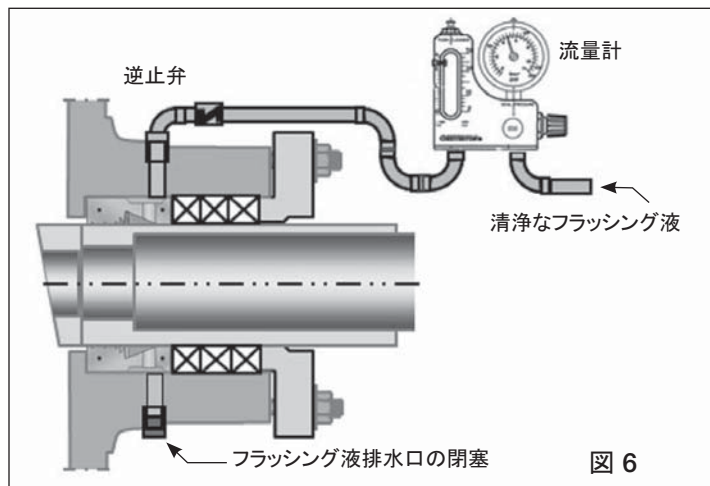


表 1: SpiralTracP 型構成取付詳細

S タイプ	S タイプ複数部品	S タイプ STR	B タイプ — A タイプ

取付け詳細

タイプ	構成	専用取扱説明
S (標準)	分割型、2片	標準取扱説明適用
S - 複数部品	分割型、4片A部 (2片分割)、B部 (2片分割)	まずA部を取付けてからB部を取付けます。正しく取付けられると、B部のランタンリングの溝がフラッシング液の注入口と一致します。
S - STR	1分割型、1片	分割部でSTRブッシングを離します。シャフトの周りを「包み込む」ようにブッシングを引張り/ねじって開けます。
AまたはB	一体型Aタイプ (カウンターボアに装着) またはBタイプ (ボアに装着)	非分割型。ポンプ組立ての前または組立て時に取付けてください。

取り外し方法詳細

取り出し用ネジ穴	オプション 1	オプション 2	オプション 3
クロスセクション	2本のパッキン抜きツールの先端を外し、SpiralTracの取り出し用ネジ山にねじ込みます。そして均等にSpiralTracを抜き出します。		
ネジ山サイズ	スタッドボルトを用意してSpiralTracバージョンPの取り出し用ネジ山にねじ込みます。ワッシャーとナットをボールが引っ掛かる位置まで回し込みます。そしてSpiralTracを均等に抜き出します。		
9.5mm-12.7mm	(PTFE製の場合のみ) SpiralTracバージョンPIに開けられたキリ穴にパッキン抜きツールを差し込んで引っ掛け、均等に抜き出します。		
12.7mm以上			

* PTFEでキリ穴の場合、オプション3を選択して下さい。

表 II:パッキン様式別取付詳細				
様式	作業前の圧縮 (起動の準備)	起動時の漏れ率 DPM(1分当りの液滴)	グランドの調整	運転時の漏れ率 ³ DPM/インチシャフト径
370 ^{1,2}	取付け手順1から4まで、 取付け手順7から9に。	100+	½から1フラット/15分	8から10
1400R	取付け手順1から9まで	100+	½から1フラット/15分	8から10
GraphMax	取付け手順1から9まで	100+	½から1フラット/15分	8から10
1730	取付け手順1から4まで、 取付け手順7から9に。	20から30	½から1フラット/15分	8から10
412-W	取付け手順1から4まで、 取付け手順7から9に。	20から30	½から1フラット/15分	8から10
477-1T	取付け手順1から4まで、 取付け手順7から9に。	20から30+	½から1フラット/15分	8から10
1760	取付け手順1から4まで、 取付け手順7から9に。	100+	½から1フラット/15分	20から60
1830-SSP	取付け手順1から4まで、 取付け手順7から9に。	100+	½から1フラット/15分	20から60

*その他のパッキン様式に関する推奨要項は、チェスタートン・メカニカルパッキン・アプリケーション・エンジニアリングにお問い合わせください。

注

- ¹ 本様式のパッキンには図 1のシャフト条件(軸ぶれ)が要求されます。
- ² 漏れ率が低い場合は、切断リングの長さは標準より3.2 mm (1/8") 以上は短くできません。
- ³ 運転時の漏れ率は一般にシャフト1インチに対して8から10 dpm(1分当り液滴)です。パッキンの様式と使用状態によって漏れを低減することができます。全てのパッキンの漏れ率は機器の状態、運転温度、表面の速度と圧力によって異なります。